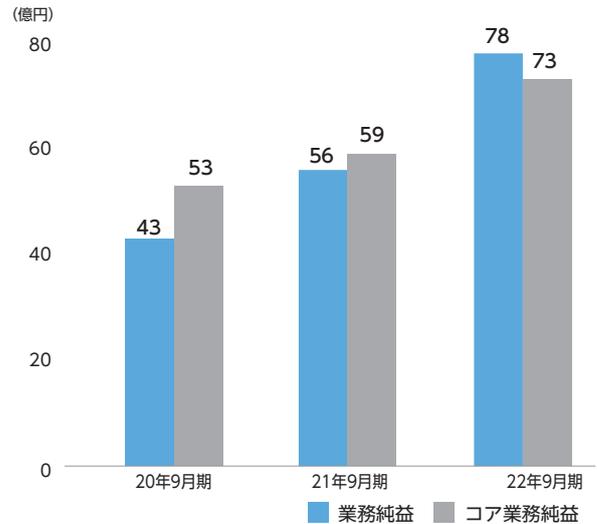


# 平成22年度中間期の営業の概況(単体)

## 業務純益とコア業務純益

本業の利益を示す業務純益は、有価証券利息配当金の増加や経費削減等の経営効率化に努めました結果、前年同期比22億4百万円増加し78億49百万円となりました。なお、債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を除いたコア業務純益は、同14億50百万円増加し73億59百万円となりました。

### ● 業務純益とコア業務純益

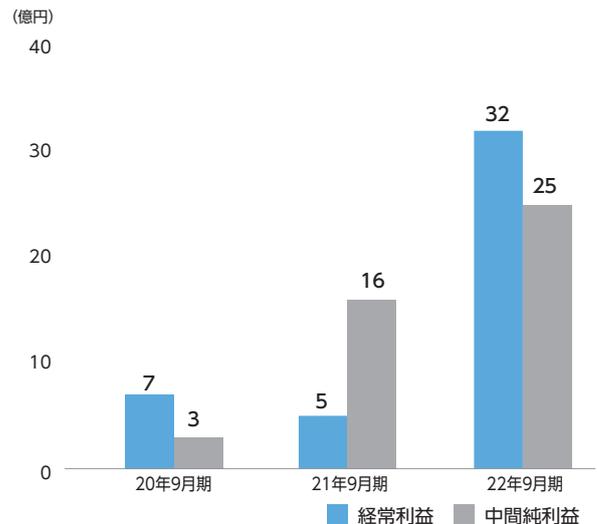


## 経常利益と中間純利益

経常収益は、有価証券関係収益の増加等により前年同期比11億75百万円増加し256億52百万円となりました。一方、経常費用は、預金利息の減少や営業経費の減少等により同15億20百万円減少し223億60百万円となりました。

この結果、経常利益は同26億95百万円増加し32億91百万円となりました。中間純利益は償却債権取立益の減少や減損損失の増加等により同8億44百万円増加し25億24百万円となりました。

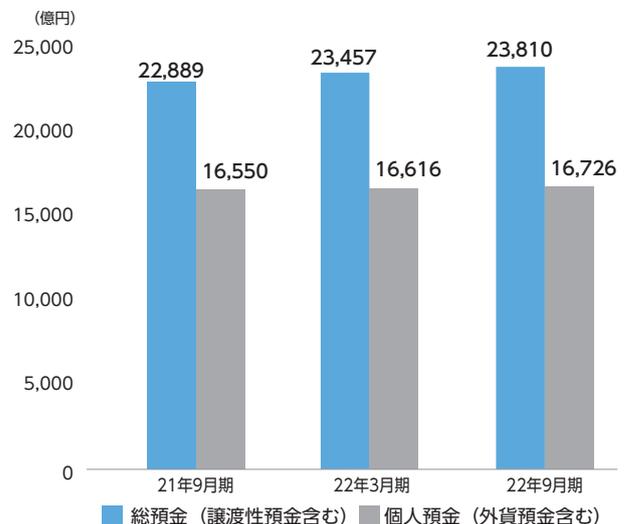
### ● 経常利益と中間純利益



## 総預金と個人預金

安定的な資金確保に努めました結果、総預金(譲渡性預金含む)は、前年度末比353億円増加し2兆3,810億円となりました。前年同期末比では920億円増加しました。個人預金(外貨預金含む)は、前年度末比109億円増加し1兆6,726億円となり順調に推移しています。

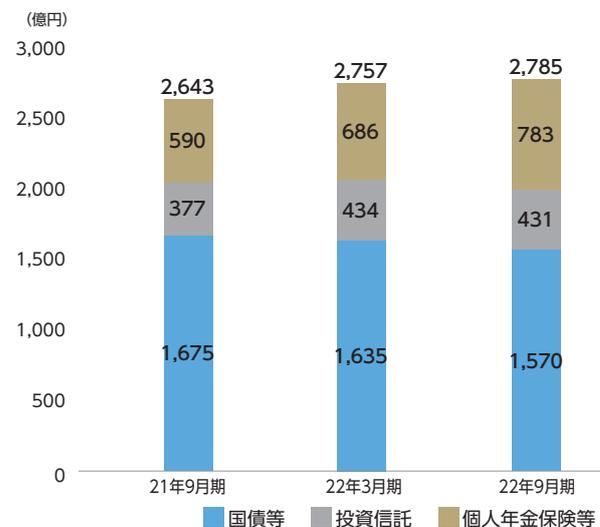
### ● 総預金(譲渡性預金含む)と個人預金(外貨預金含む)



## 個人預り資産

お客様の資金運用ニーズの多様化にお応えするよう努めました結果、個人年金保険の販売増加により、個人預り資産は前年度末比27億円増加し2,785億円となりました。前年同期末比では141億円増加しました。

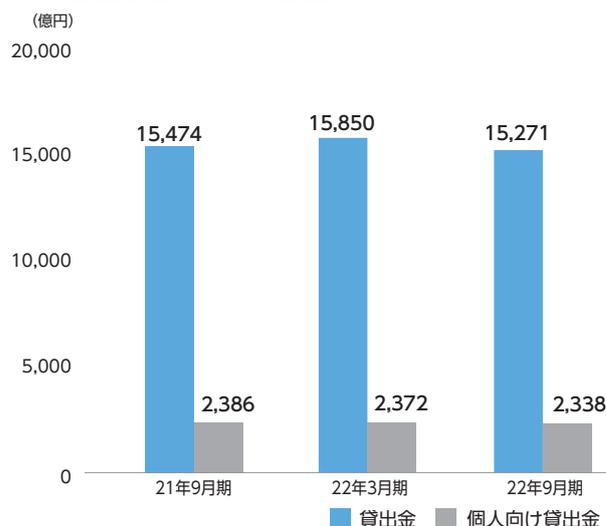
### ● 個人預り資産（国債等、投資信託、個人年金保険等）



## 貸出金と個人向け貸出金

貸出金残高は、景気低迷による資金需要の減少等により、前年度末比579億円減少し1兆5,271億円となりました。前年同期末比では203億円減少しました。個人向け貸出金につきましても、住宅の新規着工件数の減少等により前年度末比33億円減少し2,338億円となりました。

### ● 貸出金と個人向け貸出金



## 有価証券

有価証券残高は、国債・地方債等の公共債を中心に有価証券運用を強化しました結果、前年度末比647億円増加し7,929億円となりました。前年同期末比では571億円増加しました。

### ● 有価証券残高

